



玉名市

# PTA連絡協議会だより

## 共に成長

### 新しい学校のリーダーへ

玉名市PTA連絡協議会  
会長

有田康弘（ありたやすひろ）



今年度、玉名市PTA連絡協議会の会長を務めさせていただいております。平素より、有田康弘です。平素より、玉名市のPTA活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。令和7年を迎え早一ヶ月。寒さが身に染みる時期となりました。

前年度会長の原さんの後任という事で大変プレッシャーはありました。が、単位PTAの代表の皆さんと力を合わせ、活発な意見が出しあえる会議運営に取り組んでいます。早いもので令和6年が残り2カ月となりました。理事会も数回行ってきましたが、様々な議題に対していろいろな意見を聞き、各々が問題解決となるべく会議が行えております。今年度

も新型コロナウイルスの影響は少ないですが、各単位PTAで多くの事業が計画され取り行われていきます。子ども達の一年は唯一無二の年であり、その学年でしか経験できない多くの事を体験・経験して欲しいと思います。

さて、今年度は本協議会のスローガンを「共に成長！新しい学校のリーダーへ」としました。私たちPTAのメンバー一人一人が子ども達と共に成長し、そして子ども達に保護者が頑張っているという姿、背中を見せていきたいという思い、時代に求められるリーダーへなっていきたいという願いを込めました。子ども達の笑顔と未来のために、学校・家庭・地域が一丸となり、子ども



↑互いに意見を交わし合える雰囲気の協議会を目指し取り組みました

も達の健やかな成長を支えることが私たちの重要な使命です。皆様と力を合わせ、子ども達が楽しく学校生活を送れる環境づくりに努めてまいります。私たち大人も自分の時間・人生を有意義なものにするために楽しんで活動しましょう。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 親子共に元気の源である大切な家庭

玉名市PTA連絡協議会  
家庭教育部長

藤川一紗（ふじかわかずさ）



日頃より、PTA活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。本年度、玉名市PTA連絡協議会家庭教育部長を仰せつかっております。藤川一紗と申します。

日々家庭の中で、3人の子どもの明るい声や賑やかな話をきいて、いつもそこから元気を貰っています。家庭が、子どもにとって安心してくつろげ衣食住について料理や掃除など具体的な「生き

る力」を育めるところで在りたいと思っています。今年度は、各単位PTAの皆様と連携し様々な活動や地域の行事に参加する中で、子どもたちの未来にとってより良い情報を共有し合えてきました。それを家庭の中で生かし、子どもと共に成長して参りたいと思います。今年度も残りわずかとなりましたが、ご協力の程どうぞよろしく申し上げます。

### 令和6年度 玉名市PTA連絡協議会 四役一覧

会長	有田 康弘	（築山小）
副会長	松本 健二	（豊水小）
副会長	斉藤 亮平	（玉水小）
副会長	宮本 直樹	（玉陵中）
議長	濱崎 大輔	（岱明中）
会計	鬼釜 絵美	（玉南中）

### 令和6年度 家庭教育部部長・副部長一覧

部長	藤川 一紗	（玉陵中）
副部長	川西 恵子	（滑石小）
副部長	西山 和彦	（鍋小）
副部長	田中 理恵子	（小天小）
副部長	落水 洋美	（玉南中）
副部長	西村 友香	（有明中）

## 参加報告

## 第69回日本PTA九州ブロック長崎大会

令和6年10月26日から27日にかけ、長崎県で開催された「第69回日本PTA九州ブロック研究大会長崎大会」へ、玉名市PTA連絡協議会から、有田会長をはじめ8名で参加しました。

26日の分科会では、議題ごとの提言発表が行われ、今後のPTA活動の参考となる討議ができました。

続く27日の全体会では、記念講演として野々村友妃子さん（放送作家）が行われました。また全体会では各種表彰も行われ、その中で、熊本県



PTA連合会からの推薦で、玉名町小学校PTAが表彰を受賞。令和5年度に同PTAの会長を務めた元・会長の原建史さんが表彰式に出席し表彰状を受け取りました（左写真）



全体会の最後には、令和7年度開催地である福岡市からのキャラバン隊のPRなどが行われ、盛況のまま閉会しました。

## 長崎大会スローガン 学びを実践へ！

～集まろうで 語り合おうで やってみようで～

今回の長崎大会では、参加者の主体的な学びとつながりを生かしたPTA活動の実践を主題に、互いに学び合う場となりました。これにより、これからのPTA活動の指針や、やってみようという新たな活動のエネルギーを得ることができました。



## 参加報告

熊本県PTA連合会主催  
熊本県PTA研究大会阿蘇大会

令和6年11月9日に「第50回熊本県PTA研究大会阿蘇大会」が開催され、玉名市内のPTAから約100名の会員が参加しました。県内のPTA会員を対象とした本大会。今年度は阿蘇地域の3会場（西原村、阿蘇市、高森町）にわかれ開催されました。各会場で講演等があり、参加者はPTA活動について考える機会となりました。

## 主催報告

玉名市PTA連絡協議会主催  
市長・教育長との教育懇談会

藏原隆浩市長や福島和義教育長と、玉名市PTA連絡協議会の理事や家庭教育部らによる、教育懇談会を令和6年7月に開催しました。

これは、PTA会長や家庭教育部長らが、普段のPTA活動の中での課題や思いを、市長や教育長と語り合う機会として毎年開催しているもの。当日は30名以上の理事らが参加し市長らと意見を交わしました。



理事らと意見を交わす  
藏原市長（写真左）と  
福島教育長（写真上）

玉名市PTA連絡協議会

## 家庭教育部

## 家庭教育講演会を開催しました

玉名市PTA連絡協議会家庭教育部会では令和6年8月20日に、玉名市内のPTA会員を対象とした家庭教育講演会を開催しました。

講演会には、玉名市内の小中学校のPTAら85名が参加しました。講師は、小児食生活アドバイザーとして和水町で活動する近藤明枝さん。近藤さんは、中学校教諭を退職後、笑顔で過ごせる親子を増やしたいという想いで、お産や子育ての豊かさを発信されたり、自宅で子育てサロン「和く和く」主宰されています。

今回、「『今』を幸せに生きる親子になるために」と題し、講演を実施。参加者からは「本当に今を大切に、みんなが笑顔でいたい」等の感想が上がりました。



## 参加してみての感想

同じ小中学生を育てている真っ最中の、いち保護者として。

「子供に安心感を与えることを大切に。」

「子どもが持つチカラを最大限に発揮するために親は土台を作ってあげる」  
当たり前の事だけど改めて大切だと実感した。土台作りを少しでもできれば。



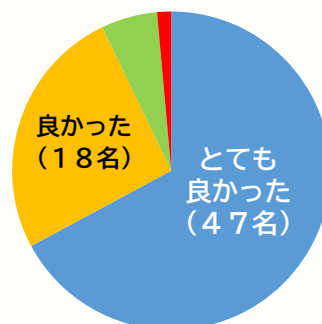
子育てをしていると自分の事を後回しにしてしまうことが多いので、自分を大切にすることが子どもを育てる上で大事にしていくなと感じました。



「将来何になりたい？」親が思っている以上に子どもは重たく感じていたんだな…と感じ、その言葉はよく考えて使う必要があるなと思いました。



子どもの成長を木に例えて、土台づくりが大事で、子の先々の不安より、親が今を幸せに生きている事が一番子供に伝わるのかなと実感しています。ありがとうございました。



アンケート回答者70名  
参加者数85名  
その他、「普通」4名、「無回答」1名となりました。



# 熊本市PTA共済から

熊本市PTA共済に関するご質問やご連絡

■共済の対象となる活動の範囲、事故発生時の手続き、様々な手続きに必要な書類など、お気軽にお問い合わせください。■熊本市PTA教育振興財団事務局：（共済契約の手続）☎0800-200-5553 （共済金請求の手続）☎096-223-7119

**P災コース 97%**  
（児童・生徒）加入率 約  
R4年度県内加入者  
（約184,000名）

**安互コース 96%**  
（保護者）加入率 約  
R4年度県内加入者  
（約145,000名）

## 熊本市PTA共済

こんな時、  
**安心**です！

▼給付について  
「たとえばこんなときに…」



登下校中で

事故によるけがなどにあったとき  
助けとなるのが**PTA共済**です

学校で、部活動で

PTA活動で

### P災コース

小中学校の児童生徒.....500円（年額）  
高等学校の生徒.....800円（年額）  
部活動指導者.....500円（年額）

### 安互コース

PTA会員（保護者・教職員等）...150円（年額）  
PTA活動の指導者・支援者.....150円（年額）

給付対象となるのは以下の通りです

#### P災コース 児童・生徒

- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病（死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故）
- 学校での事故によるけが・急性の疾病のうち障害が残るもの・死亡に至ったもの、交通事故、歯科保険外治療が必要なもの

#### 安互コース 保護者（PTA会員）

- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病（死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故）
- 学校行事に参加中の事故によるけが・急性の疾病（死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故）



■ 玉名市PTA連絡協議会だより ■ 令和7年1月発行  
■ 発行 玉名市PTA連絡協議会事務局（玉名市役所コミュニティ推進課内） ☎0968-75-1312  
■ 加入PTA数 小学校15・中学校6 会員等の数 会員 4,136名 児童・生徒数 4,790名

